

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明

2025年11月26日

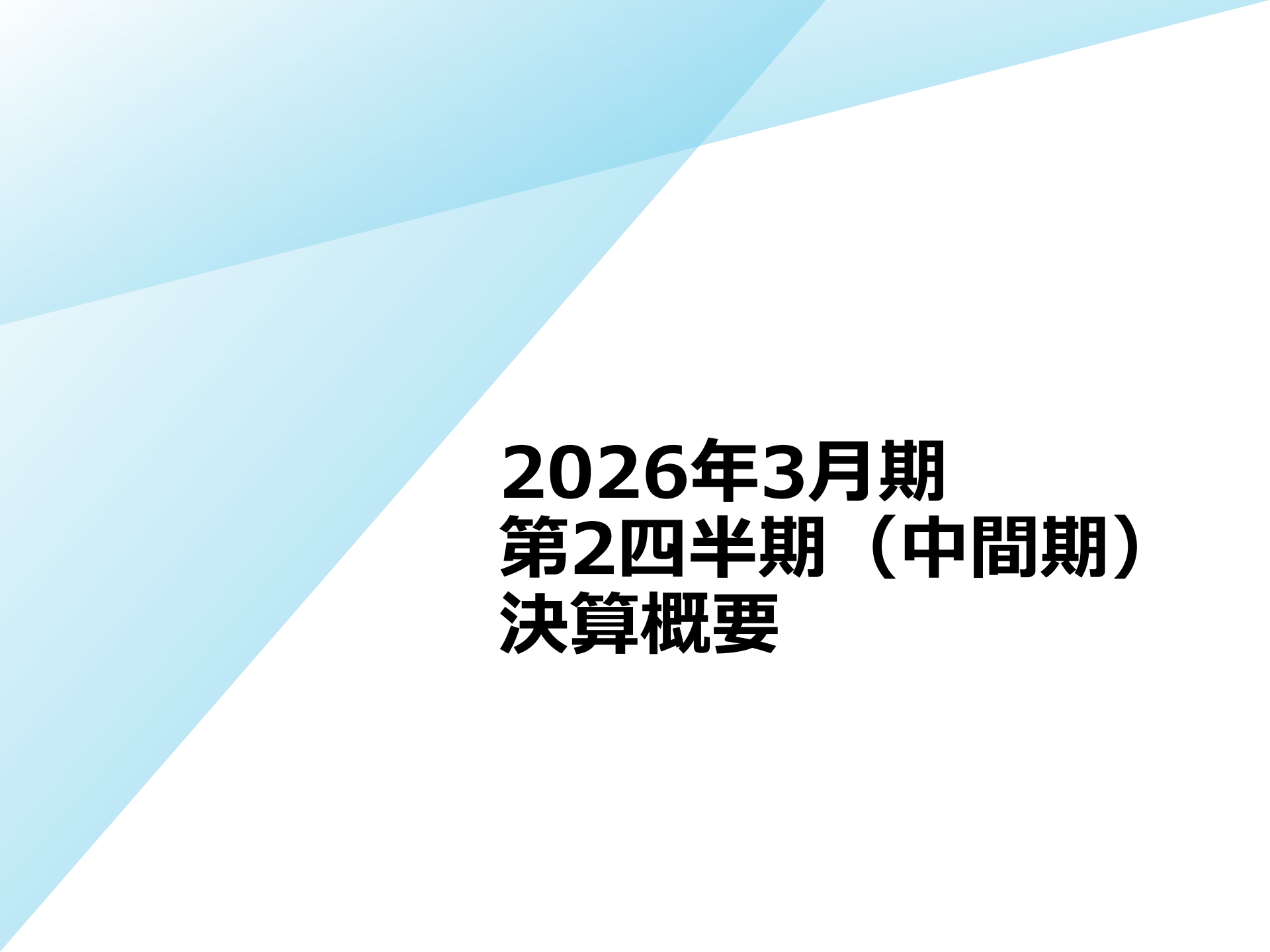
たてものを、いきものに

LIVZON 大成温調株式会社

（証券コード：1904）

目次

- **2026年3月期
第2四半期（中間期）決算概要**
 - 連結業績
 - セグメント別業績
 - 個別業績
 - 業績予想
- **中期経営計画の進捗**
 - 基本方針と具体的施策
 - 株主還元
 - 重要な経営課題
- **Appendix**

The background of the slide features abstract geometric shapes in various shades of blue, creating a modern and professional look.

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

連結業績サマリー

- 国内の建設需要の活性化に伴う物件の大型化と上期竣工物件の割合増加に加え、全社的な利益率・生産性向上の取り組みが奏功し、4期連続の増収・増益

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	27,553	29,081	29,668	587	2.0
完成工事高	26,211	27,588	28,905	1,317	4.7
売上総利益	3,761	4,261	4,824	563	13.2
完成工事総利益 (完成工事総利益率)	3,565 (13.6%)	4,135 (15.0%)	4,676 (16.2%)	541	13.0
営業利益	1,068	1,365	1,668	303	22.2
経常利益	1,282	1,645	1,794	149	9.0
親会社株主に帰属する 中間純利益	524	1,553	1,316	△237	△15.2

事業セグメントについて

- 当社グループは、主に空気調和、給排水衛生、電気設備などの設備工事事業を中心に展開
国内外で多様なプロジェクトに参画し、社会インフラの構築を支えている

セグメント	社名	事業内容
日本	大成温調株式会社	設備工事事業
	ウッドテック株式会社	設備工事事業（消火設備に強み）
	温調エコシステムズ株式会社	設備工事事業/冷暖房機器等の販売
米国	ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION	設備工事事業
中国	大成温調建築工程（上海）有限公司	建築事業/設備工事事業
オーストラリア	TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY.LIMITED	不動産事業
	NT AUSTRALIA PTY. LIMITED	不動産事業
以下は連結に含まれない		
ベトナム	TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED	投資事業
	TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED	設計・積算・施工図作成事業
	SEAREFICO CORPORATION	設備工事事業

セグメント別売上高

- 日本セグメントは市場環境の好調と物件の大型化および上期竣工物件の割合増加により増収
- 米国セグメントは現在は若干ピークアウトしているものの、不動産や建設業は依然として堅調に推移しており、今後も同水準での維持が見込まれる
- 中国セグメントは中国経済の成長鈍化が影響し、現在のところ厳しい受注・売上環境が見込まれている

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高（連結）	27,553	29,081	29,668	587	2.0
日本	19,950	22,348	23,632	1,284	5.7
米国	7,076	6,016	5,644	△372	△6.2
中国	455	698	355	△343	△49.1
オーストラリア	70	18	35	17	91.9

セグメント別利益

- 日本セグメントでは受注・工事利益率の向上とウッドテック株式会社の好調により増益が見込まれる
- 米国セグメントは予算に対して増益を確保
- 中国セグメントでは工期の延期による売上の減少により、赤字幅拡大

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
営業利益（連結）	1,068	1,365	1,668	303	22.2
日本	692	1,164	1,520	356	30.5
米国	457	276	284	8	2.9
中国	△137	△77	△158	△81	-
オーストラリア	56	4	22	18	454.9

個別完成工事高

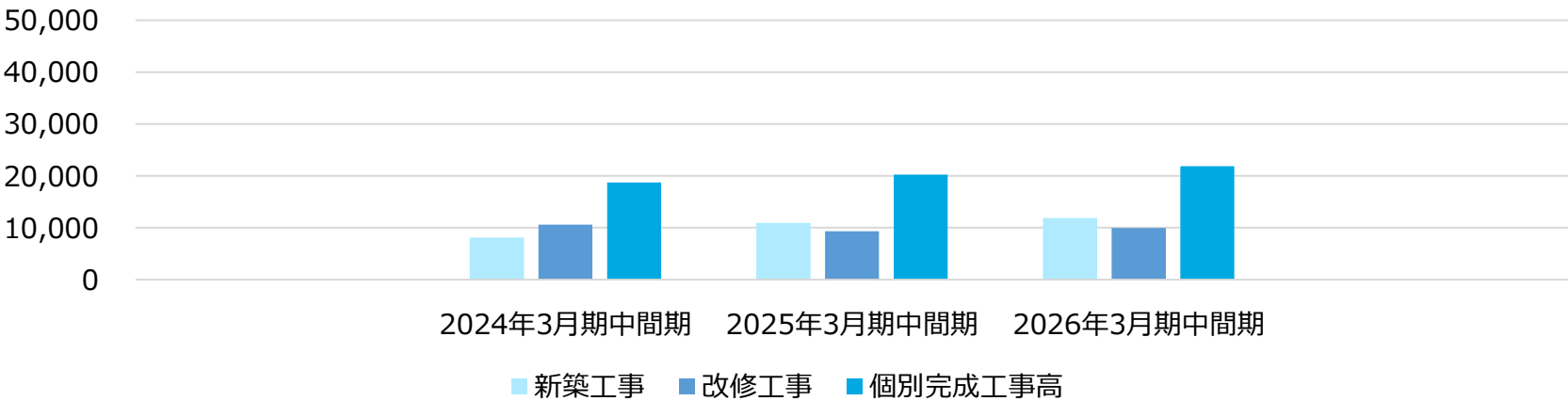
- 新築改修ともに物件の大型化と上期竣工物件の割合増加により拡大
- 一昨年度受注の新築物件と昨年度受注の改修工事の進捗が拡大に寄与

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別完成工事高	18,748	20,267	21,843	1,576	7.7
新築工事	8,132	10,930	11,874	944	8.6
改修・保守修理等	10,616	9,337	9,969	632	6.7

(単位：百万円)

個別完成工事高



個別受注工事高

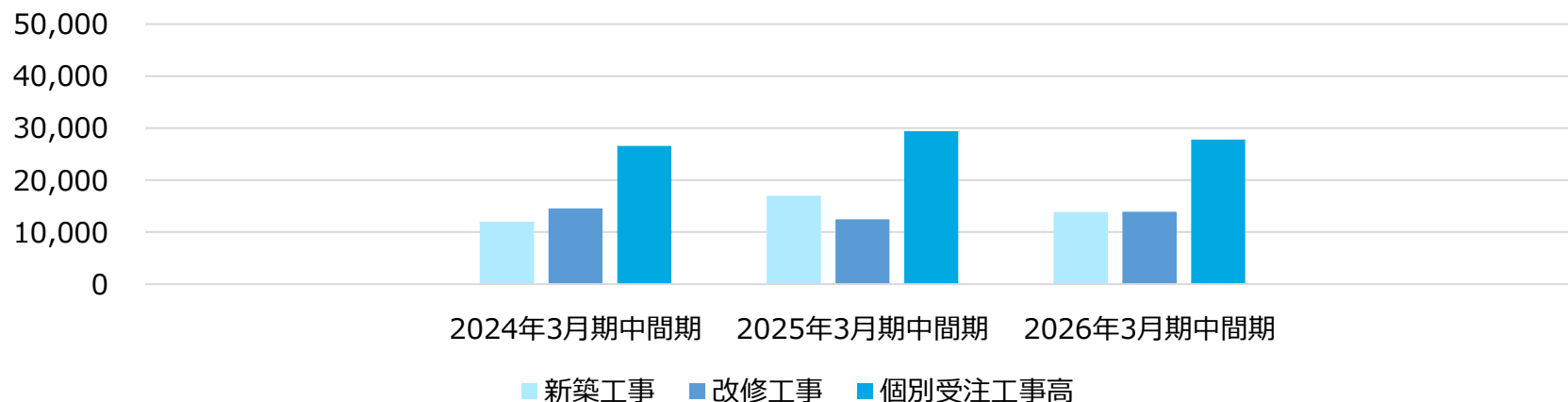
- 受注環境は堅調なものの、大型の施工中物件の増加と次期繰越工事高が豊富なため、中間期の受注工事高は縮小。受注案件の大型化が進むがそれに合わせて件数が減少

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別受注工事高	26,549	29,412	27,777	△1,635	△5.5
新築工事	12,021	16,969	13,835	△3,134	△18.4
改修・保守修理等	14,527	12,442	13,941	1,499	12.0

(単位：百万円)

個別受注工事高



個別次期繰越工事高

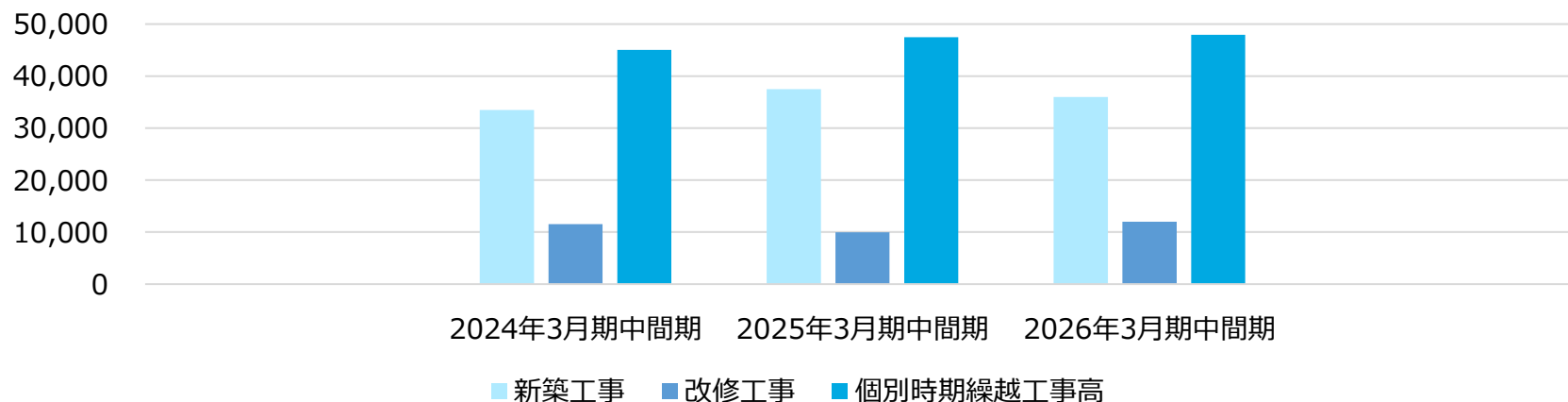
- 次期繰越工事高は、受注案件の大型化に伴い増加傾向
- 新築工事が縮小に推移するも、改修・保守修理等が拡大

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
個別次期繰越工事高	45,016	47,476	47,960	484	1.0
新築工事	33,502	37,518	35,972	△1,546	△4.1
改修・保守修理等	11,513	9,957	11,987	2,030	20.3

(単位：百万円)

個別次期繰越工事高



2026年3月期 連結業績予想

- 日本セグメントでの下期竣工割合の減少と米国および中国セグメントの落ち込みにより、連結で減収見込み
- 将来の成長に向けた、人的投資を含む約10億円の追加投資の影響により、連結で減益を見込む

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 (予測値)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高（連結）	62,502	60,200	△2,302	△3.7%
営業利益（連結）	3,115	2,700	△415	△13.3%
経常利益（連結）	3,483	2,800	△683	△19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益（連結）	2,487	1,800	△687	△27.6%

中期経営計画の進捗

「LIVZON DREAM 2030 1st half!」

中期経営計画 LIVZON DREAM 2030 1st half!の位置づけ

- 目指す姿である『総合たてものサービス企業』の実現に向け、中期経営計画の取り組みとともに、新たにサステナビリティの取り組みを統合、推進中

長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」

1st half! (2021～2025)

- ・ コア事業の収益性改善
- ・ 成長のための土台作り

2nd half!
(2026～2030)

「総合たてもの
サービス企業」へ

サステナビリティ

- ・ ESGを含む重要な経営課題を解決

LIVZON DREAM 2030 1st half!における経営指標（KPI）

- 利益率・生産性向上PJの施策が奏功し、一部の目標は達成しているが、全項目の早期達成に向けて取り組みを進める

■ 重要な経営指標

KPI	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 中期経営計画目標
営業利益率	3.7%	4.9%	5.0%	5.0%以上
ROE 自己資本当期純利益率	5.9% (PBR 0.45倍)	7.7% (PBR 1.02倍)	9.3% (PBR 0.81倍)	8.0%以上
EPS 1株当たり当期純利益	246.01円	335.66円	408.47円	250円以上
DOE※ 連結純資産配当率	2.0%	3.0%	3.0%	2.5%以上

※ DOEは、2026年3月期予定で、3.8%目途に引上げ

LIVZON DREAM 2030 1st half!の取り組み

- LIVZON DREAM 2030 1st half!の基本方針「①基盤事業の深耕」、「②成長への投資」、「③経営基盤の整備」に引き続き注力する

基 本 方 針

重 点 施 策

①基盤事業の深耕

- 高付加価値セグメントへの資源配分
- 競争力の強化
- 生産性の向上

②成長への投資

- デジタライゼーション・DXへの投資
- 事業ポートフォリオ拡充への投資
- 新規成長分野への投資

③経営基盤の整備

- 人財の確保・育成
- ガバナンスの強化
- 資本効率の向上

施策の進捗状況

① 基盤事業の深耕

- 採算重視の資源配分や、業務プロセス・生産プロセスの見直しなどにより、本業部分の利益率・生産性が向上
- アウトソーシングや工法の工夫などにより、業績向上のみならず、働き方改革にも寄与

■ 最近のトピックス

■ 高付加価値案件の注力

- ・ 中長期の企業価値と収益の向上を目的に、**高度な技術力を要するプロジェクトへ資源を戦略的に配分し、事業の付加価値の最大化を図る**

■ オフサイト施工による生産性向上

- ・ 建設現場で行っていた加工・組立を工場でプレハブ化・ユニット化し、**現場の工程・工数を削減して生産性を高める「オフサイト施工」を推進**
- ・ 当社はその一環として「ライザー工法」や「ユニット工法」を採用し、顧客へ提案している



施策の進捗状況

②成長への投資

- 基盤事業の深耕により生み出したキャッシュフローを成長投資へ充当。業務プロセスのデジタル化を目的としたDX投資を実行

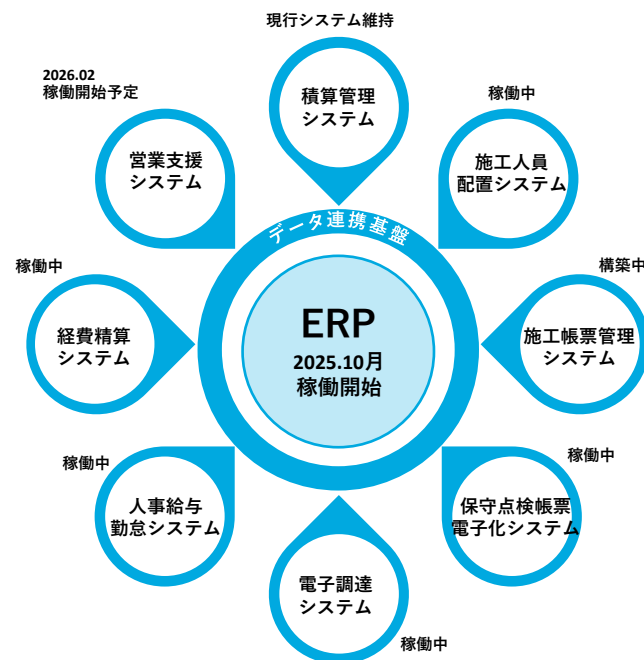
■ 最近のトピックス

LIVZON サイバープラットフォームの構築

- ・ 新たなERPと各種業務アプリを連携させ、データの一元管理と迅速な意思決定を可能とする、**大成温調の新たなデータ連携システム**
- ・ 2025年10月に稼働開始

生成AIの全社的な活用の拡大

- ・ Microsoft Azure 環境において、OpenAIを用いた社内システムを構築中
- ・ 管理業務を中心に品質と生産性の向上に向け活用拡大予定。



施策の進捗状況

③経営基盤の整備

- 今後の成長を支える環境とリソース確保のため、多様な人財の活躍を目指した働き方改革を積極的に実行するとともに、ESGの取り組みを加速し企業価値の持続的成長を図る

■ 最近のトピックス

■ 人財の確保・育成

- ・ 「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）」に認定
- ・ 社員と家族を応援する「LIVZON エールプロジェクト」を開始
第一弾：出産祝金の支給額を最大100万円に拡大
第二弾：「奨学金**全額**代理返済制度」を導入
- ・ 従業員の賃金引上げに伴い**初任給の改定**を実施



■ 株主還元強化

- ・ 株式の流動性向上を目指した戦略的な株主還元を実施
- ・ DOE水準の引き上げや自社株買いを通じて、**株主への利益分配を拡大**

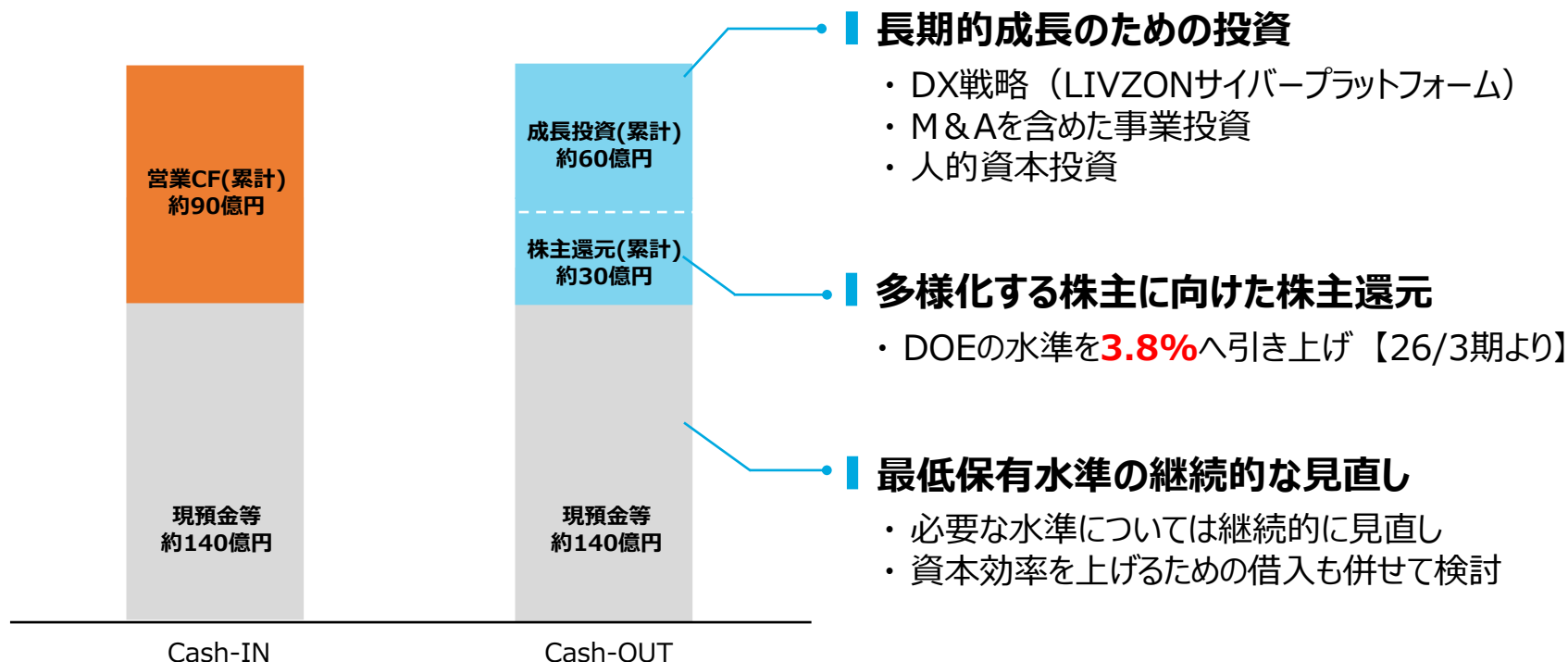


株主優待のクオカード（イメージ）

キャピタルアロケーションの考え方

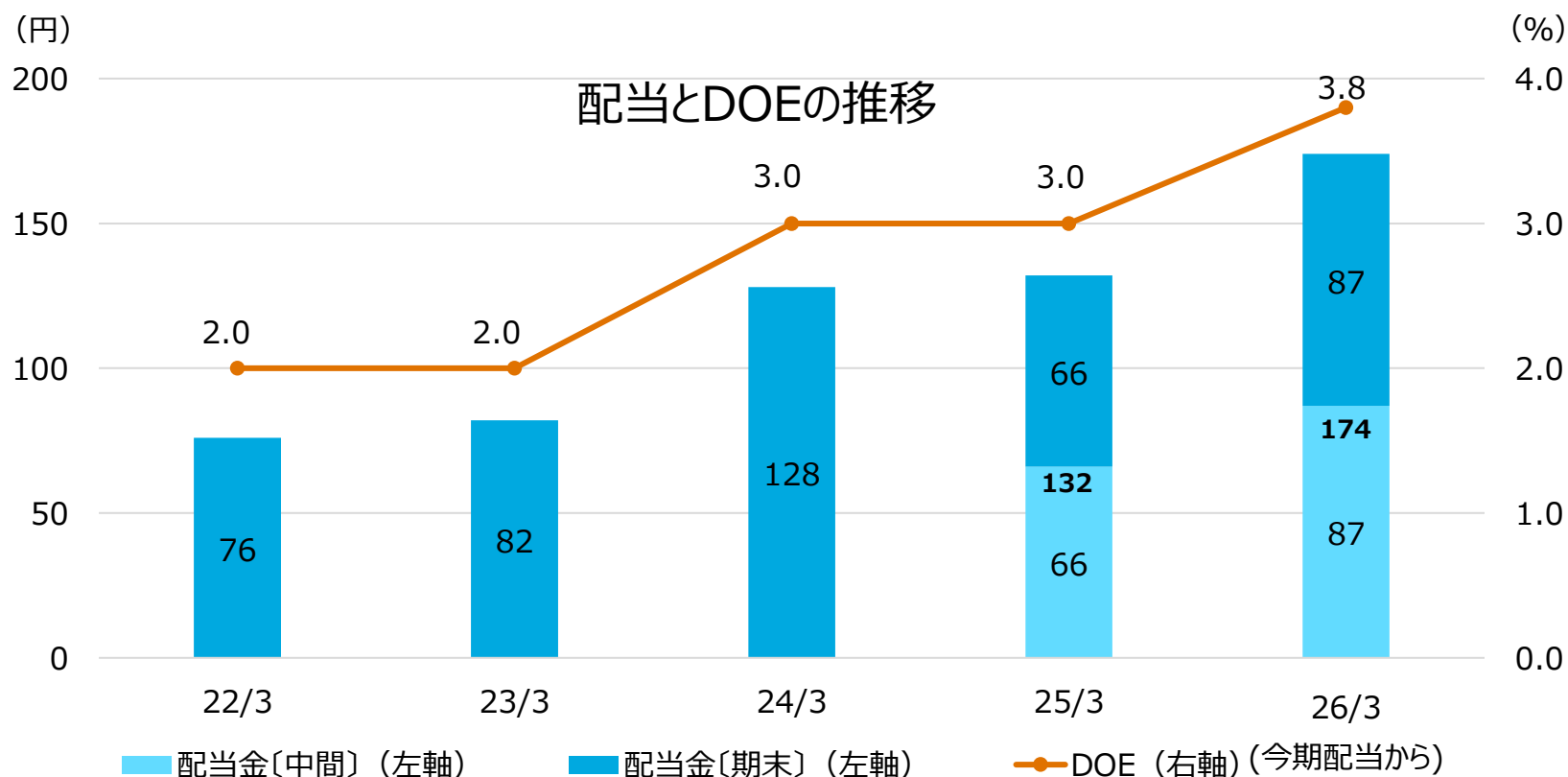
- 財務基盤の健全性を維持しつつ、創出したキャッシュフローを成長投資と株主還元に分け、資本効率の向上を図るという方針は変更なし

計画期間（2024年度～2028年度）の 概算キャピタルアロケーション（連結）



株主還元について①

- 株主層の多様化を図るべく資本政策を検討した結果、株主優待制度の見直しおよび連結純資産
配当率（DOE）を3.0%から3.8%目処へ引き上げを実施
- 総利回りの維持および株主層の拡大を目的としたもの



株主還元について②

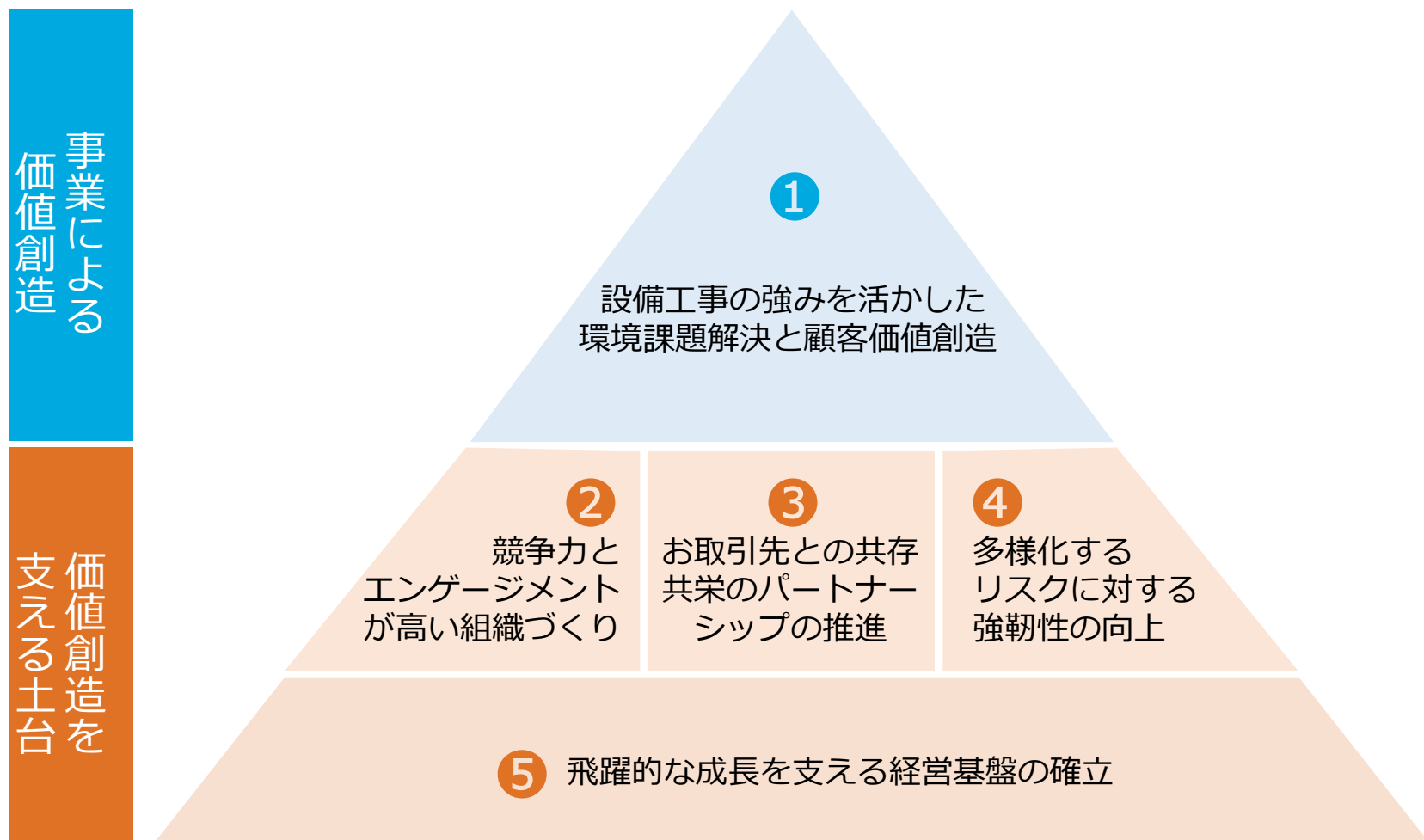
- 株主還元の見直しとともに、優待についても見直しを実施
- 総利回りを維持しつつ配当による還元比率を高め、成長投資とバランスを図りながら中長期的な株主価値の最大化に取り組む方針

■ 優待の見直し

	変更前	変更後 (2026年3月期以降)
配布時期	中間、期末	中間、期末
300～499株	クオカード 16,000円 (8,000円×年2回)	クオカード 8,000円 (4,000円×年2回)
500～899株	クオカード 30,000円 (15,000円×年2回)	クオカード 15,000円 (7,500円×年2回)
900株以上	クオカード 60,000円 (30,000円×年2回)	クオカード 30,000円 (15,000円×年2回)

重要な経営課題

- 重要な経営課題のうち、「事業による価値創造（①）」を中核に、「価値創造を支える土台（②～④）」が下支えし、さらに⑤（ガバナンス）は全体を横断する基盤として機能します。



重要な経営課題

- 次期中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 2nd half!」にて取り組む重要な経営課題を、以下のとおりいたしました。

重要な経営課題一覧

目指す姿

事業による
価値創造

- 1** 設備工事の強みを活かした
環境課題解決と顧客価値創造

空調衛生設備技術や豊富な施工経験といった基盤事業の強みに加え、**AI・IoT技術の活用や新工法の開発、業務提携・M&A**、さらには**丁寧なヒアリングと顧客ニーズの体現力**、海外拠点の資本を活かし、気候変動や資源の枯渇といった**環境課題の解決**に取り組むとともに、「たてもの」を起点とした**新たな顧客価値の創造**を通じて、すべての人が健やかに生きられる**持続可能な社会の実現**に貢献します。

- 2** 競争力とエンゲージメントが
高い組織づくり

従業員の能力開発とリーダー育成への投資、および**技術の伝承や生産性向上のための仕組みづくり**を急務とし、また、多様な人財が長く活躍できるよう、人権尊重、柔軟な働き方、成長機会の拡充、風土改善等を通じ、組織の競争力とエンゲージメントを高めます。

- 3** お取引先との共存共栄の
パートナーシップの推進

パートナー企業や調達先の皆さまとの公正な取引を徹底し、現場の安全衛生の向上に努めます。また、**継続的な対話や協働を通じて信頼関係強化や知見共有**を行い、将来にわたって共存共栄のパートナーシップを実現します。

- 4** 多様化するリスクに対する
強靱性の向上

現場の労働安全衛生や長時間労働、災害時のBCP、資材高騰という建設業特有のリスクだけでなく、気候変動、自然災害、人権、サイバーセキュリティ等、**事業環境の変化とともに浮上するリスクを管理**し、対応する能力を高めます。

- 5** 飛躍的な成長を支える
経営基盤の確立

事業環境の変化やステークホルダーからの要請に対応し、さらに「総合たてものサービス企業」への進化を下支えするため、**資本効率の向上や、内部統制の強化、財務・非財務の情報開示等**を通じて、透明性と倫理性の高い経営基盤を築きます。

価値創造を
支える土台

TOPICS①

■ 本社移転

- ・ 2026年秋（予定）本社を「OIMACHI TRACKS（大井町トックス） BUSINESS TOWER」へ移転
- ・ これまで複数のビル、フロアに分散していた本社オフィスをワンフロアに集約
- ・ 移転に伴い大成温調ビルを売却



出典：JR東日本ニュース
「大井町駅周辺広町地区開発（仮称）のまちづくり」
（2024/10/8）

■ 品川区新総合庁舎を受注

- ・ 品川区が建設を予定している新総合庁舎の機械設備を当社を含むJVが149億9300万円で受注
- ・ 規模は、地下2階（SRC造）地上14階（S一部RC造免震構造）延べ床6万0779㎡



出典：品川区ホームページ
「新庁舎整備」（令和7年10月15日）

TOPICS②

東京2025デフリンピックに出場

- ・東京2025デフリンピック、デフビーチバレーボールで
当社所属の伊藤選手・堀選手が躍動し、5位タイとなりました



写真左：伊藤 碧紀選手/写真右：堀 花梨選手

統合報告書の発行

- ・大成温調グループ、2度目の統合報告書を発行
- ・さまざまなステークホルダーとの対話を促進し、
広く社会からの信頼を得ることを目的として発行
- ・今後も発行を継続し、内容の充実に努める



▽こちらからPDFデータ
ダウンロードできます

https://www.taisho-oncho.co.jp/news/images/02_250911.pdf



Appendix

会社概要

社名	大成温調株式会社（TAISEI ONCHO CO., LTD.）
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：1904）
創業	1941年（昭和16年）4月3日
設立	1952年（昭和27年）12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
本社所在地	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目49番10号
主な事業内容	空調・給排水・電気設備の設計、施工管理、メンテナンス。 産業用クリーンルームや省エネソリューションも。海外にも展開。
従業員数	連結：784名、単体：581名（2025年3月期末時点）
代表者	代表取締役 社長執行役員 水谷 憲一

コーポレートブランド「LIVZON」(リブゾン)

たてものを、いきものに
LIVZON
大成温調株式会社

コンセプト

創業80周年記念事業として、「たてものを、いきものに」をステートメントに企業ブランドとして誕生。建築物と地域社会に命を吹き込むことを表している。

LIVZONの由来

人々の暮らしや営みを表す「LIVE」と、未知を表す「Z」、そして、物事を活性化させていくという意味の「ON」を組み合わせたネーミングです。未知の領域に絶えず挑戦し、人々の暮らしを豊かにしていくというLIVZONの意思と約束を表現しています。

当社の特長 ①総合設備のプロフェッショナルグループ°

- 設備の構成要素となる各種機器・器具を、ダクト・配管や配線で最適に繋ぎ合わせ、システム全体を正常かつ省エネで機能させる、総合設備のプロフェッショナルグループ。

建築工事

建物の構造をつくる

設備工事

建物の中身・システムをつくる

空調設備・換気設備

室内の温湿度を調節したり、空気を入れ替えることで、各空間に適した室内環境に保つ役割を果たします。

空調設備・換気設備は、快適な暮らしを支えています。



給排水衛生設備

トイレや浴室など、建物の水まわりで必要十分量の水を安心して使用できる機能を提供します。

給排水衛生設備は、清潔な暮らしを支えています。



電気設備

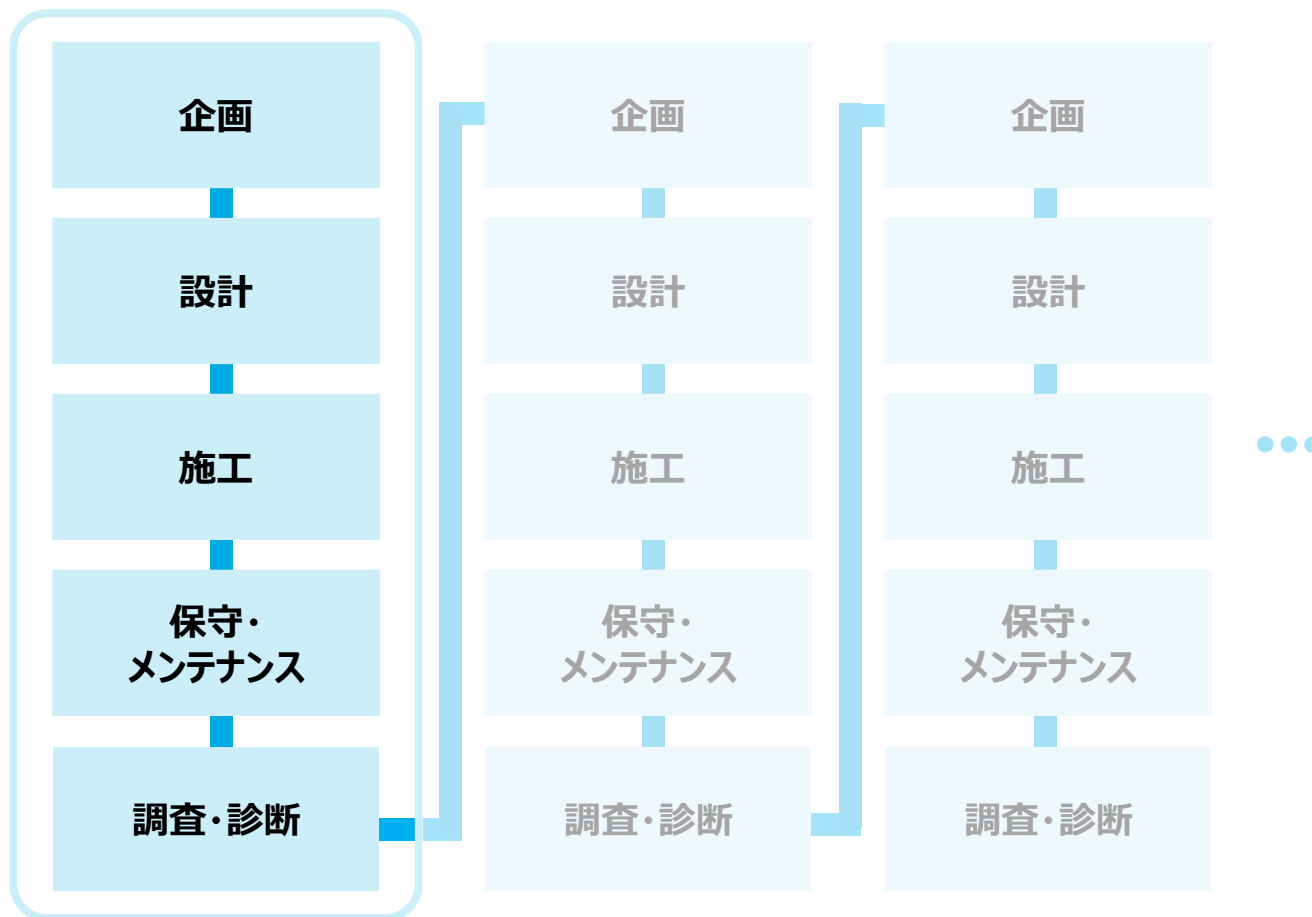
電力会社から供給される電気を建物に取り入れ、照明や電化製品をスイッチひとつで使える環境を提供します。

電気設備は、便利な暮らしを支えています。



当社の特長 ②ライフサイクルサービス

- 建物に関する提案から施工・保守サービスまで一貫して対応。建物の価値を一生涯高めていきます。



当社の特長 ③海外ネットワーク

海外における関係会社

- **ALAKA'I MECHANICAL CORPORATION** 
(アラカイ メカニカル コーポレーション)
- **大成温調建築工程（上海）有限公司** 
- **TAISEI ONCHO VIETNAM HOLDINGS COMPANY LIMITED** 
(大成温調 ベトナム ホールディングス カンパニー リミテッド)
- **TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED** 
(トップ エンジニアリング ベトナム カンパニー リミテッド)
- **SEAREFICO CORPORATION** 
(シーレフィコ コーポレーション)
- **TAISEI ONCHO AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(大成温調 オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)
- **NT AUSTRALIA PTY. LIMITED** 
(エヌティー オーストラリア プロプライエタリー リミテッド)

事業拠点 国内のネットワーク

■ 本社・支店8か所、営業所20か所、サービスステーション13か所あり、全国で施工対応が可能。

本社・支店

本 社	東京都品川区大井1-49-10 大成温調ビル
東 北 支 店	宮城県仙台市宮城野区榴岡2-4-22 仙台東口ビル8F
関 東 支 店	埼玉県さいたま市北区宮原町2-34-3
東関東支店	千葉県千葉市中央区新田町1-1 IMI未来ビル4F
横 浜 支 店	神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 大樹生命横浜桜木町ビル4F
名古屋支店	愛知県名古屋市中区錦3-6-34 太陽生命名古屋ビル11F
大 阪 支 店	大阪府大阪市中央区谷町4-11-6 中央日土地谷町ビル6F
九 州 支 店	福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-28 ヴィトリアビル2F

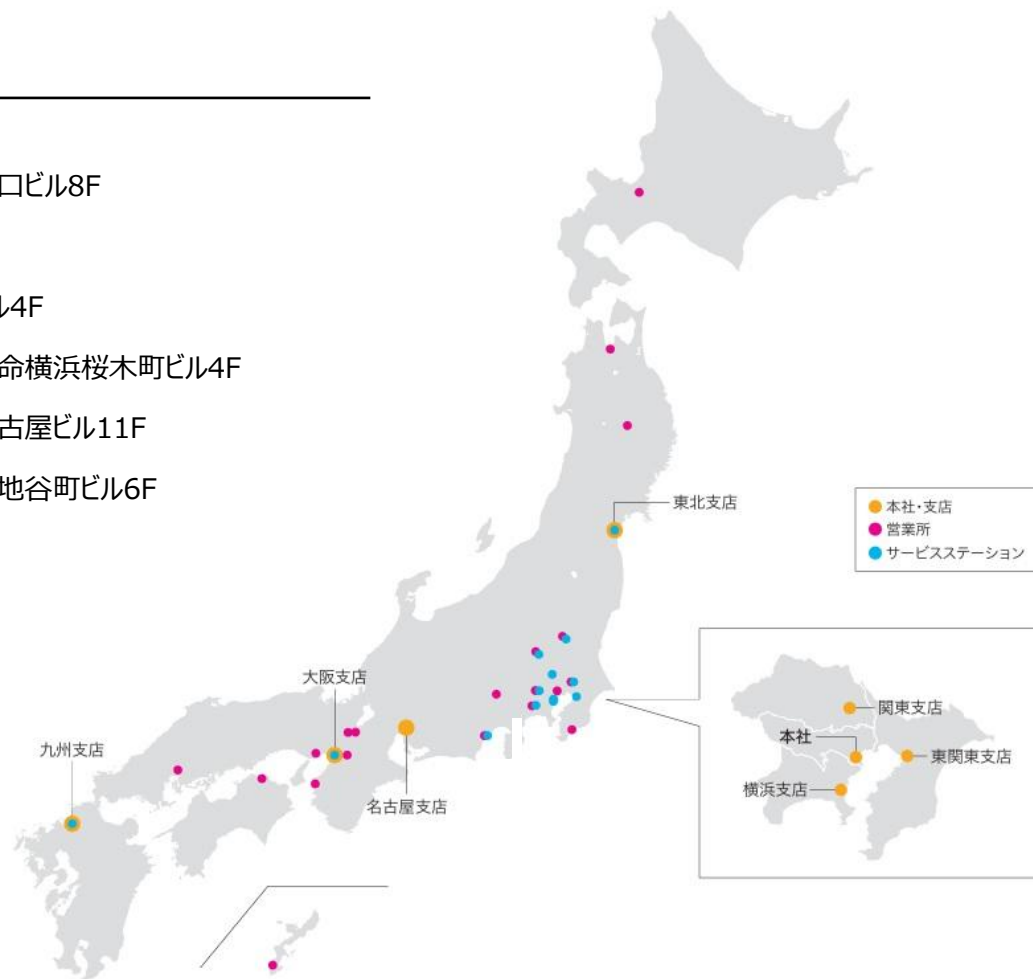
国内子会社

ウッドテック株式会社

千葉県印西市小林3990-1

温調エコシステムズ株式会社

東京都品川区大井1-24-5 大井町センタービル5F

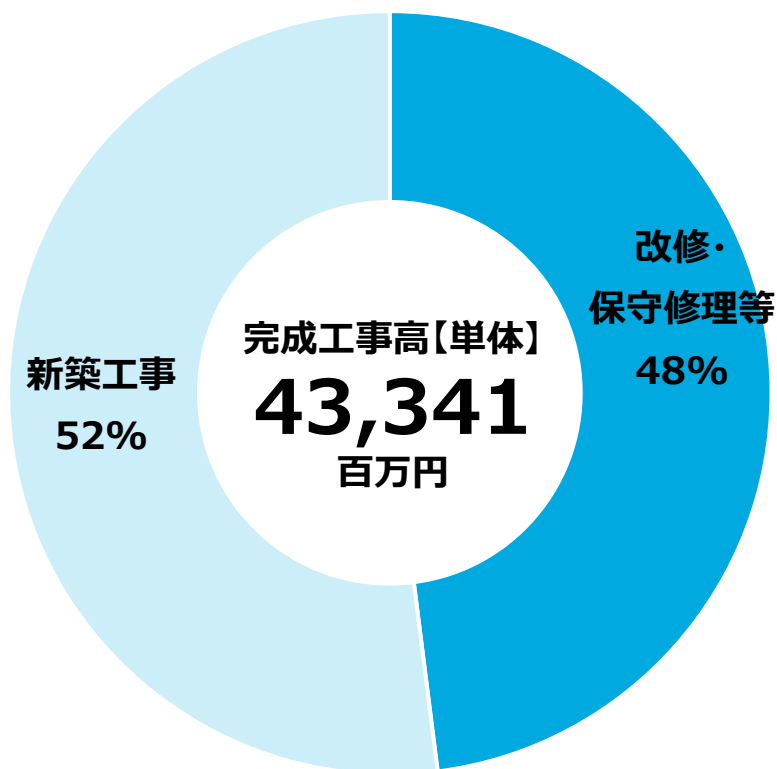


完成工事高 構成比率（新築/改修、元請/下請）

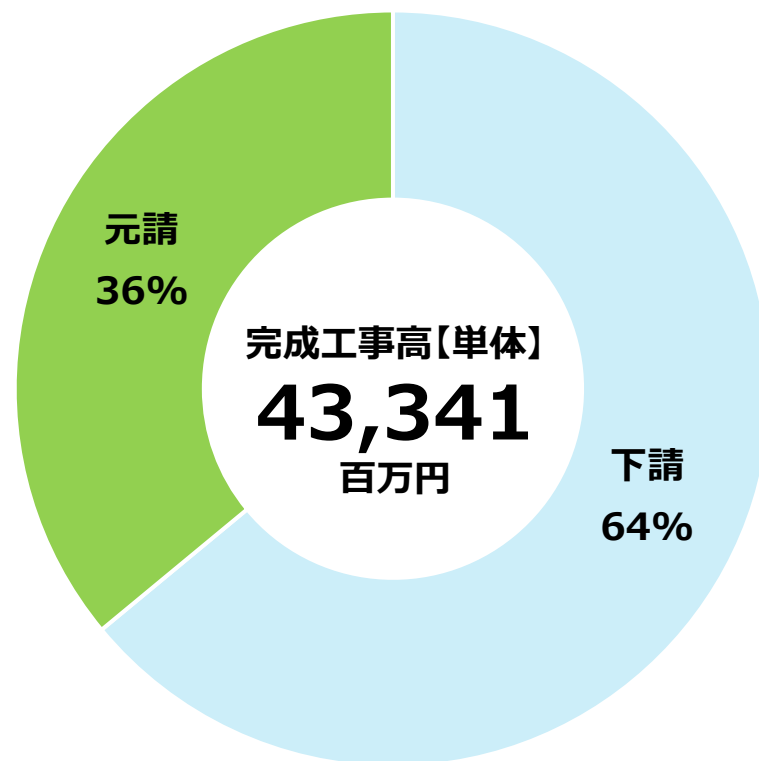
2024年4月～2025年3月実績

- 改修・保守修理、また元請案件の割合を増加させることで利益率改善に大きく寄与。

新築/改修



元請/下請

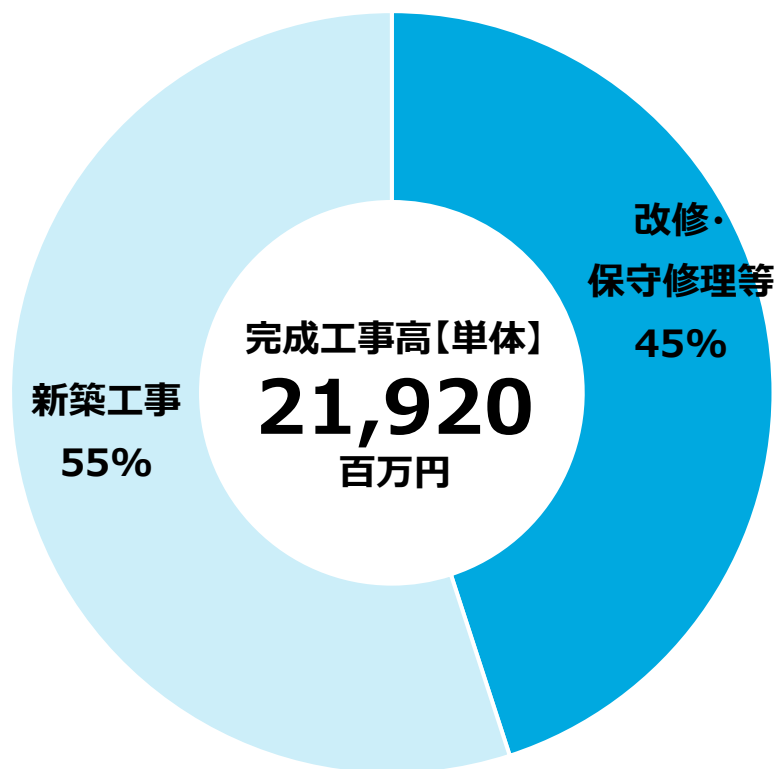


（2025年3月期実績）

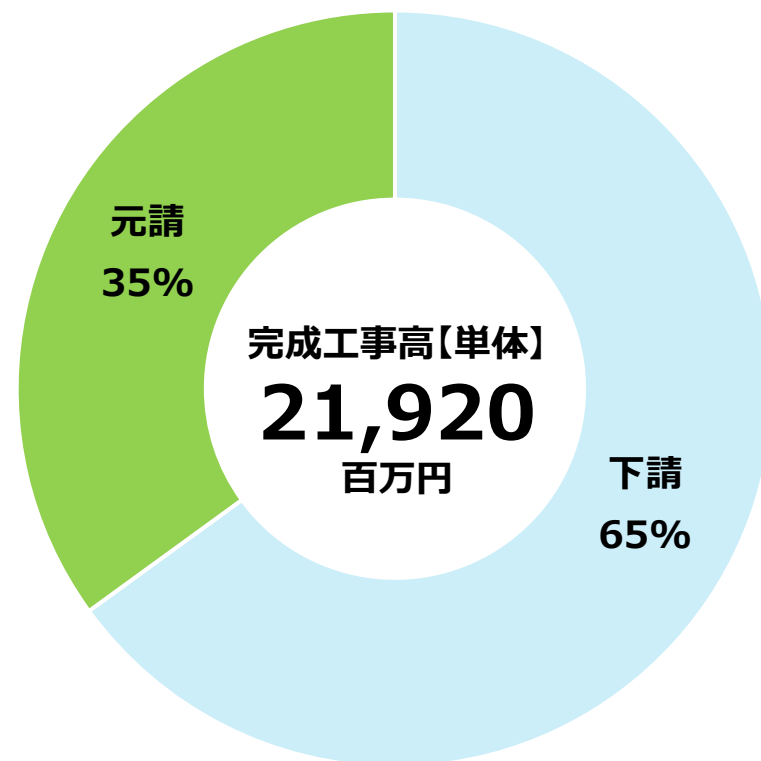
完成工事高 構成比率（新築/改修、元請/下請） 75期 2025年4月～9月実績

- 改修・保守修理、また元請案件の割合を増加させることで利益率改善に大きく寄与。

新築/改修



元請/下請

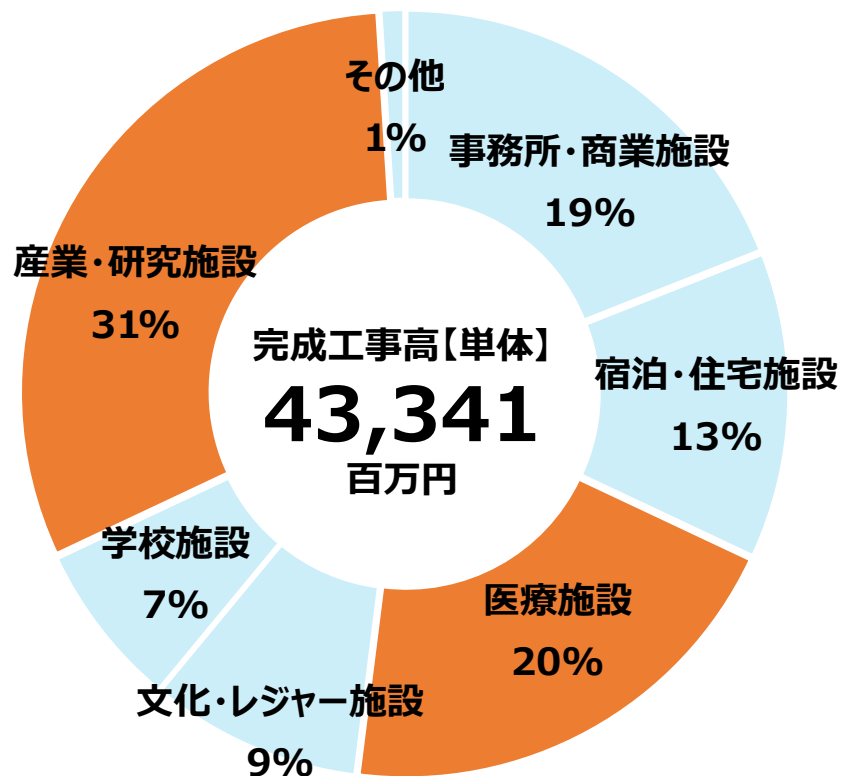


（2025年9月期実績）

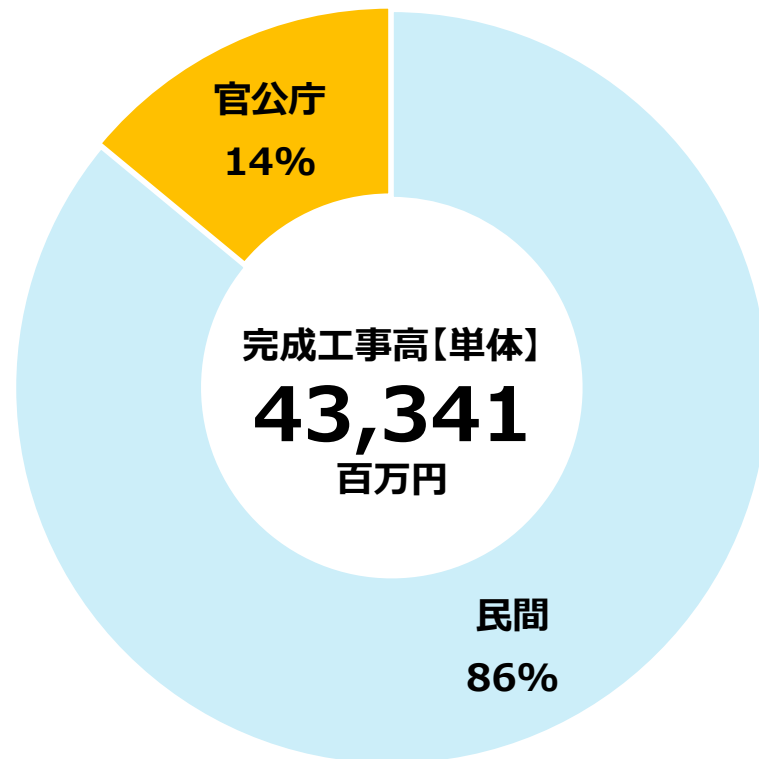
完成工事高 売上構成比率（建物用途、官公庁/民間） 2024年4月～2025年3月実績

- 建物用途は幅広く、特に医療施設、産業・研究施設のセグメントは相応のノウハウを持つ。

建物用途



官公庁/民間



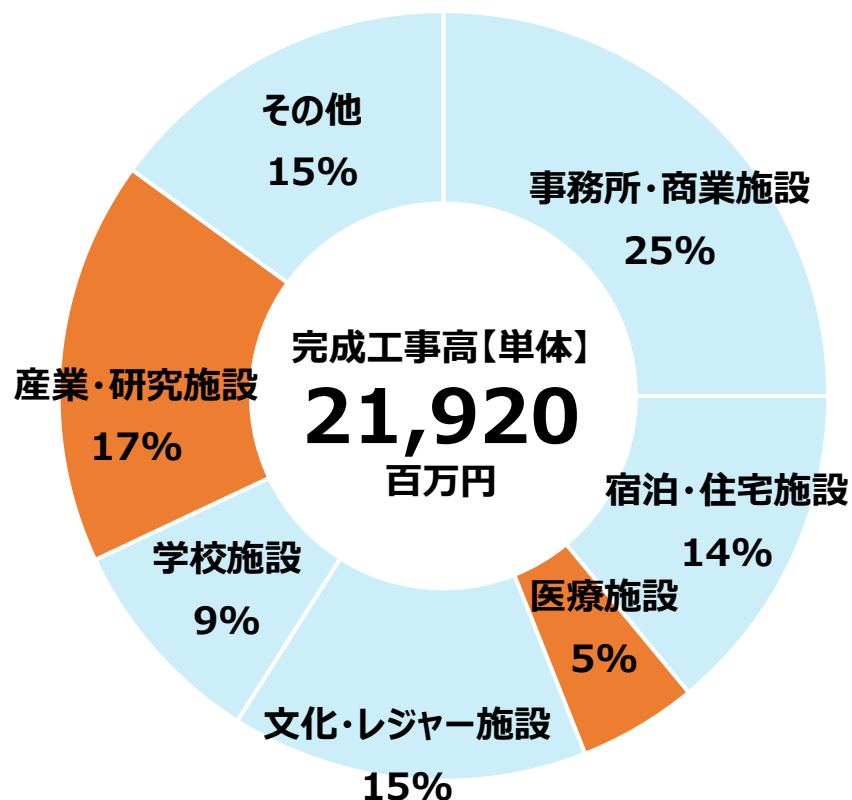
（2025年3月期実績）

完成工事高 売上構成比率（建物用途、官公庁/民間）

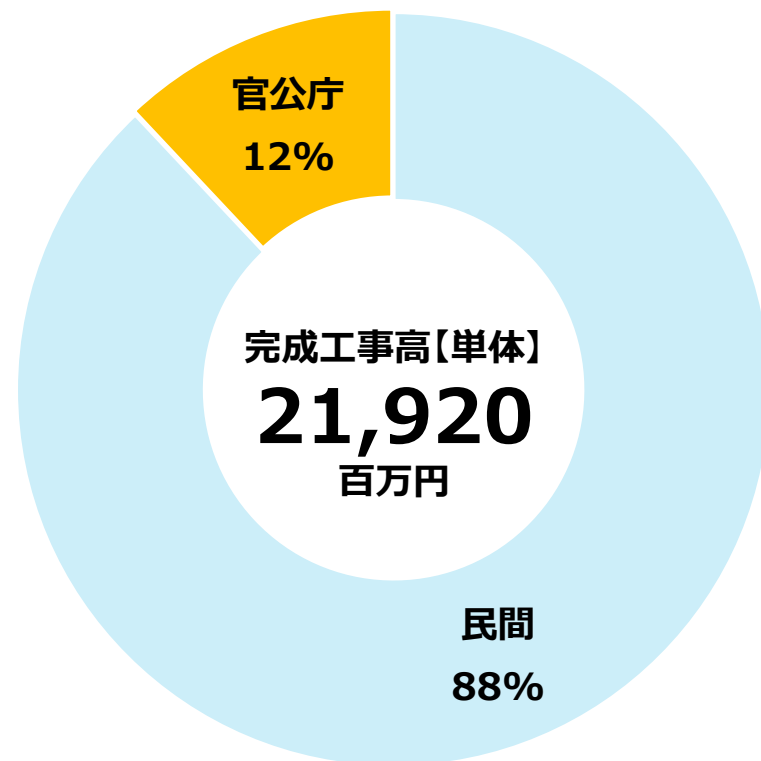
2025年4月～9月実績

- 建物用途は幅広く、特に医療施設、産業・研究施設のセグメントは相応のノウハウを持つ。

建物用途



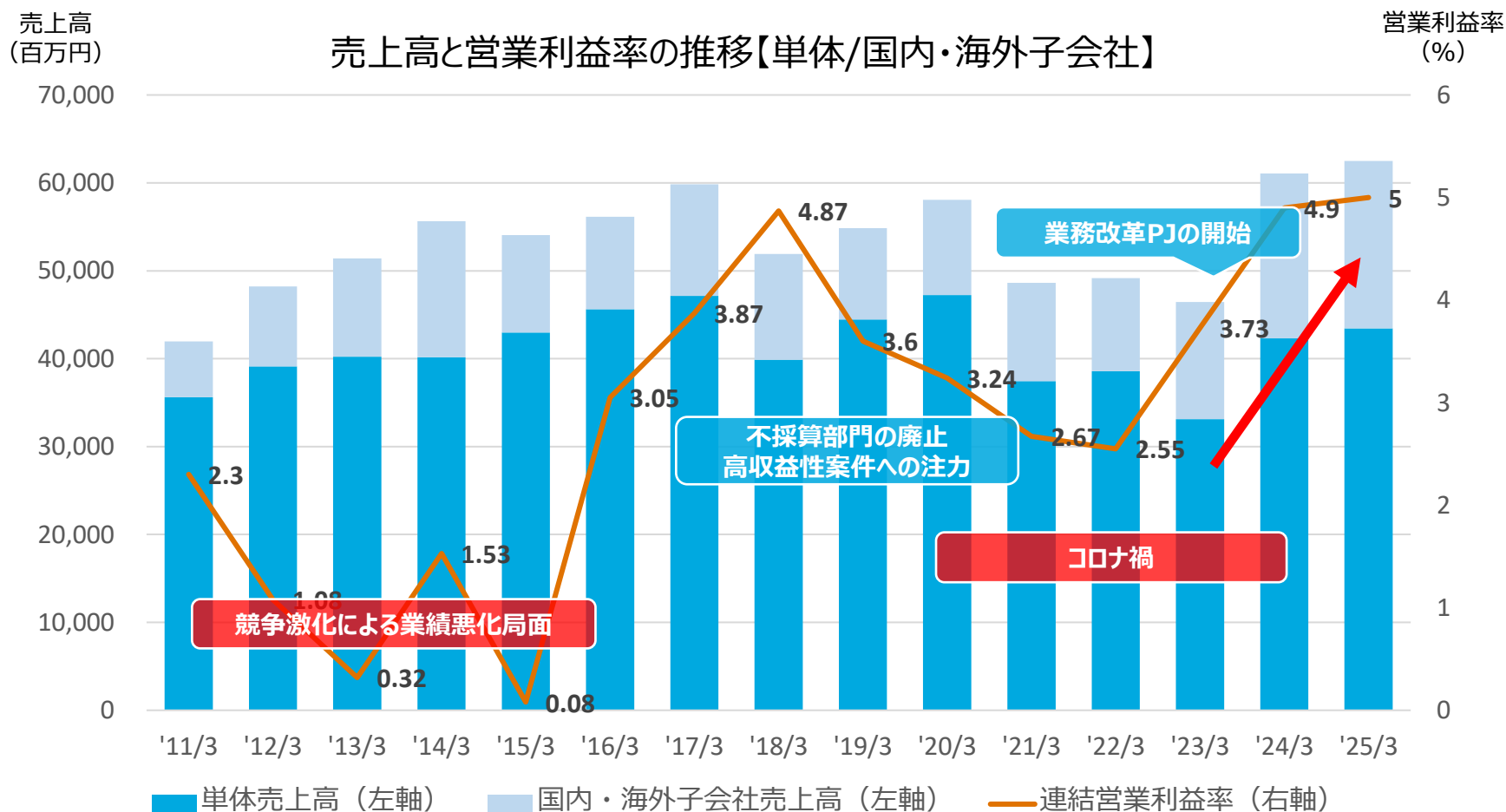
官公庁/民間



（2025年9月期実績）

業績の推移（売上高、営業利益率）

- 直近では、業務改革PJ（デジタル経営による利益率・生産性向上をテーマとする取り組み）と市況の好転がかみ合い、業績は急角度で改善中。



お問い合わせ先



【IR担当窓口】

事業企画統括部 IR広報部

E-mail: ir-info@taisei-oncho.co.jp

【ご注意事項】

本資料に記載されている当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因に加え突発的な内部要因により直接または間接的な影響が当社業績に及ぶ等から、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。